

白山中学校 第3学年 英語科シラバス 担当者 山賀 恵里子

教科の目標

- ・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による4つの領域の言語活動を通して簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成することを旨とする。

評価の観点

- ・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションをしているか。
- ・授業を通して身につけた英語を、場面に応じて的確に理解し、表現できたか。
- ・言語や文化への知識や理解は高まったか。

評価の方法

- ・授業中の態度や参加の様子
- ・帯活動（やりとり）の状況、パフォーマンステスト
- ・定期テスト、教師による観察、小テスト、ノート・ワーク・課題の提出、等

特色のある学習方法

- ・生徒一人一人が積極的に、かつ意欲的に学習に取り組めるような教材・教具を用意する。（やりとりや表現活動の工夫）
- ・ALTとの会話を積極的に全員が楽しく行えるような場面設定の工夫をする。
- ・ALTとの共同作業により英語教室の掲示などを工夫し、英語に対して広く関心を持たせる工夫をする。

	学習内容	学習のねらい
一学期	<ul style="list-style-type: none"> ○受け身の平叙文、疑問文とその応答 ○助動詞+受け身の文 ○SVOC(C=形容詞)SVO O that節) ○Would you like...?を用いた文 ○現在完了(継続、経験、完了)の疑問文とその応答 ○現在完了進行形 ○不定詞の特別用法 want +人など+to, It is (for ~), to~, let(help)+人など+動詞の原形 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学習したことを使い、伝え合ったり、書いたりできる。 ・第4・第5文型について理解し、表現できる。 ・これまでの経験について、伝え合ったり、質問に答えたりできる。 ・すでに様々な活動が終えることができたか伝え合ったり、確認することができる。 ・継続的な事柄について、伝え合ったり、確認することができる。 ・これまでに学習してきた不定詞を復習するとともに、不定詞の特別用法について理解し、表現できる。
二学期	<ul style="list-style-type: none"> ○間接疑問文 ○SVOO(what節) ○現在分詞・過去分詞の後置修飾 ○Can I help you?, Shall I ~? Would you like me to ~? ○接触節(名詞を修飾する文)の使い方 ○関係代名詞(who, that, which)主格、目的格の使い方 ○仮定法 I wish I could (had) ~. If + 主語 + were + ~. If + 主語 + 動詞の過去形 ○既習事項の総復習 	<ul style="list-style-type: none"> ・間接疑問文の形・意味・用法を理解し、表現できる。 ・第5文型の what 節について理解し、表現できる。 ・現在分詞、過去分詞による後置修飾を理解し、表現できる。 ・相手を考慮し、具体的な提案をしながら申し出たり、応じたりすることができる。 ・名詞を修飾する文を理解し、表現できる。 ・関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現できる。 ・仮定法を用いた文の形・意味・用法を理解し、表現できる。 ・仮定法を用いて、架空の状況について、説明したり、感想や意見を述べたりすることができる。
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ○既習事項の総復習 ○これからの英語学習法 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明文を読んで、概要を理解し、自分の考えや意見を述べることができる。 ・スピーチの原稿を読んで、内容の要点を理解し、自分の言葉で伝えることができる。 ・自分に合った英語の学習方法を見つけて、楽しく英語を学び続けるきっかけを作る。

